

Ⅲ 次の文章は南アメリカの4カ国について述べたものである。文章をよく読み、以下の問いに答えよ。

1. 太平洋に面したこの国は海岸部のコスタ、高原山岳部のシエラ、東方の低地に3区分される。首都はアンデス山脈の麓にあり、都市は主にコスタとシエラに分布し、シエラにはこの国の主要輸出品である銅鉱やすず鉱の鉱山都市が分布する。インカ帝国の都とされる（ a ）もあり、マチュピチュ遺跡と共に観光客を引き寄せている。また、アンデス山脈の山中では海拔高度により気候が異なるため高度によって栽培作物の違いが見られる。

2. この国の国土は南北に長く、南部は（ b ）と呼ばれ、寒冷な西風が卓越する半乾燥地域の台地で牧羊が盛んである。首都は（ A ）川河口の右岸にあり、パンパを後背地とするこの国最大の貿易港である。パンパでは小麦やトウモロコシが栽培され、肉牛を中心とした牧畜が発達している。南アメリカでは大土地所有制が残存しており、大農園の呼称は国により異なるが、この国ではエスタンシアと呼んでいる。また、南アメリカではモンゴロイド系の先住民とヨーロッパ系移民、アフリカ系移民が混在・混血しているが、この国ではヨーロッパ系移民の割合が高い。エスタンシアで働く牧夫を（ B ）と呼ぶが、（ B ）には先住民とヨーロッパ系移民の混血が多い。

3. この国の国土の大部分は安定陸塊であり、世界最大の流域面積をほこる河川の流域である盆地部と高原部からなっている。高原部では良質な鉄鉱石を産出し日本へも輸出されている。1967年に発見された（ c ）鉄山の開発が進み、1990年代には産出量が世界1位にまでなった。この国の都市は高原の縁辺部に多く分布し、都市人口率はヨーロッパやアメリカ並に高く、近年では地方中心都市の成長が著しい。人口集中により都市内部では（ C ）と呼ばれるスラムの拡大が問題となっている。この国の最大都市である（ d ）はコーヒーの集散地として発展し、日系人が多く住んでいる。かつては鉱産資源や嗜好品に依存した貿易構造であったこの国は、近年では工業の発展に伴って貿易構造に変化が見られるようになった。

4. この国の主な地勢は西部にメリダ山脈、中央部にラテンアメリカ有数の大河であるオリノコ川の流域のオリノコ平原、南東部のギアナ高地からなり、オリノコ平原はサバナ型の熱帯草原で（ e ）と呼ばれ、分布面積は日本の国土面積と等しい。西部の（ D ）湖周辺では原油が産出しており、この国はラテンアメリカで数少ないOPEC加盟国である。国名は先住民が水上生活をしていたのをベネチアにたとえて、「小ベネチア」と呼んだことに由来している。

問1 文中の空欄A～Dに入る最も適した語句を記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

問2 文中の空欄a～eに入る最も適した語句をそれぞれ選択肢イ～ニのなかから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- | | | | |
|-------------|-------------|-----------|--------------|
| a (イ. グアヤキル | ロ. クスコ | ハ. ラパス | ニ. リマ) |
| b (イ. セラード | ロ. セルバ | ハ. パタゴニア | ニ. リャノ) |
| c (イ. イタビラ | ロ. カラジャス | ハ. チュキカマタ | ニ. ピルバラ) |
| d (イ. サンパウロ | ロ. ブエノスアイレス | ハ. モンテビデオ | ニ. リオデジャネイロ) |
| e (イ. セラード | ロ. セルバ | ハ. パタゴニア | ニ. リャノ) |

問3 下線部①に関して、この山脈周辺で栽培されている下記の作物のうち、一般に栽培地の標高が最も低いものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- イ. カカオ ロ. コーヒー ハ. ジャガイモ ニ. 綿花